

目 標 達 成 計 画

事業所名 認知症対応型共同生活介護  
グループホーム はまゆり

作成日 平成22年 6月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開所当初から今まで理念の見直しておらず、理念とは日頃実施しているケアの根底であることを考慮し早急に再構築する必要がある	理念の再構築を図る。	1. 自分たちのケアに対する思い全部紙に書く。 2. カテゴリーに分ける。 3. 職員会議の席で話し合い、理念を作り直す。 4. 玄関 事務スペースに貼る。	1. 6月30日迄 2. 7月10日迄 3. 7月14日 4. 7月15日
2	33	重度化した場合や終末期のあり方について早い段階で話し合わなければならなかったが、全く行っておらず、今後、協力病院や訪問看護との連携を検討しながらホームの受け入れ体制を整え、指針 同意書作成や家族や関係者等との話し合いが必要である。	重度化や終末期に向て、職員も家族も納得行よう進めて行く。	1. 職員について *重度化 終末期の意味 死生感について話し合う。 *自分たちの力量を自己評価する。 *不足部分を内部 外部研修GHで勉強していく。 2. 協力病院 訪問看護との連携について *病院側の意見を聞きながら連携体制をどの様にとったから良いか話し合っていく。 3. 家族について *家族会で取り組みについて考えている事を伝える。 *アンケート調査をし、家族の思いを知る。	1が確りと出来ていないと病院家族にも混乱をもたらすと共に多大な迷惑がかかる為、納得行くまで話し合い知識 技術を身に付けて行く、又、自分達が良くて病院側の考えもあり良く話し合い、両方が納得行く段階で開始する必要があると考えられる為、今月から取り組んでは行くが何時までとは言えない。
3					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。